

LET'S

一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-43-7773
URL : <http://lets.some.jp>
E-mail:lets@some.jp

平成26年8月

うるわし通信

表彰文化を大切に！

優れた行為や功労などに対して、その成果を公にすることを「表彰」という形で表します。それは、受賞者を公に認めるというセレモニーです。会社や世の中から認められた人や団体などは、意識を高揚させ、活動が活発になり、更なる好成績を収めようと努力をします。すると、表彰を行った側にも相乗効果が表れます。

企業がよく行う、営業成績の表彰はその実例のひとつです。授賞式で社長から表彰され、ねぎらいの言葉をもらう。受賞者は感謝の言葉を語るとともに、新たな目標に向けた決意を誓う。受賞できなかった社員は、今度こそ自分が表彰してもらえるように頑張る。社員のやる気が上がれば、企業の業績アップに繋がる。企業の業績が上がれば、社員の給料が上がる。次々と経済の好循環が期待できるのです。

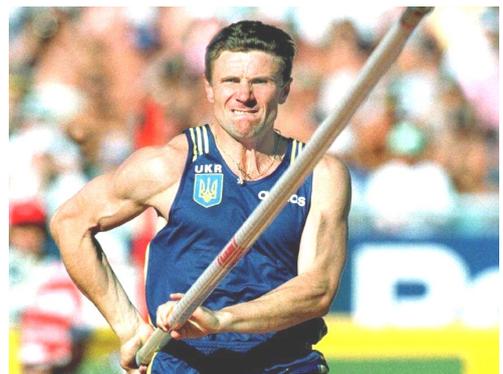
かつて、「鳥人」と呼ばれた、ウクライナ出身の男子棒高跳選手のセルゲイ・ブブカは現役時代に世界記録を35回も更新しています。彼は、自身が持つ世界記録には満足せず、自己記録を何度も塗り替えました。その雄姿は、ソ連崩壊後のウクライナ国民だけでなく、全世界の人々に夢と感動を与えたのです。

「表彰」とは、成果に贈られるものと思われがちですが、「表彰」によって受賞者の高揚感が高まり、次への意欲が増して、賞を授与した側の期待通りに、事が進みだしてこそ、「表彰」本来の目的が達成されるのです。

モノにあふれた現代社会において、たとえどんなに財産があっても、権力を握っても、本当に人は幸せになれるのでしょうか。近年さまざまな事件や問題の要因となっているのが、疎外感や孤立感です。誰も認めてくれない、自身の存在も否定されている、だから「相手は誰でもよかった、注目を浴びたかった」などという短絡的な感情によって悲惨な事件が起きています。人は、社会から存在を認められ、公に多くの人々から認められてこそ安心感や満足感に満ち溢れ、本当の幸福を得ることができます。

世界中には、多種多様な文化・宗教・風習があります。価値観が違うのは当然ですが、人類がお互いに認め合っ
てこそ平和な世界が実現するのではないのでしょうか。だからこそ、「表彰」という文化は人間社会にとって非常に重要であると信じています。

(ひがし 俊克)



「鳥人」と呼ばれたセルゲイ・ブブカ氏

第5回奈良人権文化選奨

奈良県内で人権文化に関する顕著な活動を行ってきた個人、団体が選奨されます。この度、当会の浅川氏と田口氏が受賞されました。心からお祝い申し上げます。

<p>浅川 肇 様</p>	<p>桜井市の談山神社に奉職され、現在は顧問をされています。イラク戦争反対・チベット問題・朝鮮学校無償化除外に反対する運動や「戦争をさせない奈良1000人委員会」の呼びかけ人をされておられる。文学活動にも取り組まれ、歌集『もう秋ですか』（魚影洞）を刊行され、歌誌『無人島』の編集にも携わっておられます。</p>	
---------------	---	---

お礼の言葉 30数年前、親兄弟姉妹はもとより、同級生も友人も誰1人いない桜井へ来ました。今回、個人賞の受賞というのが感無量です。それに文学活動の評価も稀有のことでとても嬉しい。今後も研鑽を重ね、努力して行きたいと思えます。有難うございました。 浅川 肇

<p>より愛どころ ありがとう 田口 アキ子 様</p>	<p>桜井市で自宅を改築し、県内では初となる小規模多機能型居宅介護施設「より愛どころ ありがとう」を2006年にオープンされました。園芸療法を取り入れたり「全国菜の花プロジェクト」に参加され、菜の花の開花を祝ったイベントを開催するなど、地域の人々との交流も行っておられます。</p>	
--------------------------------------	---	--

お礼の言葉 両親の介護と地域の一人の認知症の方に、かかわらせて頂いた体験を通して感じたことから、この「より愛どころ ありがとう」が生まれました。そしてこの奈良人権文化選奨を頂戴することが出来ました事、この上ない感謝と喜びでいっぱいです。これからもこの賞を頂いた事を励みに、今迄通り歩んで行きたいと思えます。ありがとうございました。 田口 アキ子

平成26年度奈良県環境保全功労賞

環境の保全と創造に関する活動に関し、特に顕著な功績のあった者が表彰されます。この度、当会の福岡氏が受賞されました。心からお祝い申し上げます。

<p>NPO法人 山野草の里づくりの会 福岡 定晃 様</p>	<p>奈良県桜井市北部を中心に里山や遊休農地の整備、県レッドデータブックに選定されている希少な動植物などの調査・保全活動が行われています。</p>	
---	---	---

お礼の言葉 この度、当会が荣誉ある賞を受賞できましたこと、会員一同「誉」と感じております。十数年に亘り、無報酬・腰弁当で近畿一円より活動に参加いただいた皆さんには、深く感謝しています。市民の皆様にも今後共、里山保全にご理解とご協力をお願いする次第でございます。 福岡 定晃

市民活動交流拠点スタッフ 講習会 参加レポート

【EM石鹼・EMぼかし(肥料)作り講習会に参加しました。】

先日、7/27(日)・7/28(月)と2日間、桜井市生活学校の方々が開催されたEM石鹼・EMぼかし(肥料)作りの講習会があり、最終日に参加させていただきました。

桜井市芝区にある『EM工房 芝』の野村雅英先生を講師に、揚げ物の廃油、EM活性液、カセイソーダを原材料とした、人と環境に優しいEM石鹼づくり。

EMって? 「有用(Effective)」と「微生物群(Microorganisms)」を組み合わせた「有用微生物群」の略で、EM開発者である琉球大学農学部の比嘉照夫教授により名付けられた造語で、光合成細菌・乳酸菌・酵母を中心とした様々な抗酸化物質を産生する微生物の複合体。

天ぷらや揚げ物などの廃油は、カセイソーダを加えて反応させると石鹼として再利用することができ、諸説があるようですが、EM発酵液などを混ぜると、反応速度と抗酸化力がアップして、洗濯や肌に優しい良質なEM廃油石鹼として使用でき、その石鹼を使用した排水は水を浄化する力があるそうです。

人と環境にやさしい石鹼っていいですね。世界中で環境や人に優しいモノや活動に対する意識も高まっています。私自身も、姉が職業として、細菌やウイルス、有用菌などの研究をしているということもあり、10代の頃より身近で見聞きし、それらが人に与える影響というものに関心を持っていましたので、今回、桜井市生活学校の方々の取り組みをきっかけにEM菌の存在を知る機会をいただいて興味を持ちました。

『ココロとカラダによさそうなコト』健康に関することマニア?の私のマイブーム。マイテーマです。EMぼかし(肥料)も、植物によい影響を与え、『食』に繋がり、そして人にも。資源が循環し、生態系も回復。すばらしいですね。(桜井市 市民活動交流拠点 運営協議会 事務局 : 松村さやか)

【EM石鹼づくりに参加して】

7/28(月)『EM石鹼とEMぼかし(肥料)づくり』に参加させていただきました。

EM石鹼の生産工程を実際、目で見て、材料の中にEM菌や廃油の他に、扱いにとっても注意が必要なカセイソーダや刺激臭が少なくなり抗酸化が高まるセラミックパウダーも含まれていることを知りました。EMぼかし(肥料)も、空気が入らないよう、カビが発生しないよう、とても気を付けておられるのが、よくわかりました。廃油や糠の資源化で環境にもやさしく、これをもっと広めようと活動されている桜井市生活学校の皆さんの集客力や団結力、行動力もとても勉強になりました。

イベントを考え、人を集めるのは容易ではありません。参加者の中には、参加はしたいけれど、芝公民館まで行くのが大変だとおっしゃる方もおられたようですが、それぞれの事情を聴いて、送迎もしておられました。また、参加者の中で他の活動の告知をされたい方に少しお時間をつくってくださったり、自分たちの活動だけでなく、他団体への協力やコミュニケーション力にも大きなパワーを感じました。

(同事務局 : 森田明美)



講師の野村雅英先生

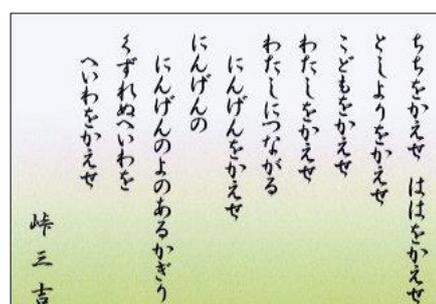
事務局だより

- うるわしの桜井をつくる会事務局の電話番号が変更になりました。
新しい番号は 0744-43-7773 (FAX兼用) です。よろしくお願ひします。
- 8月15日の事務局会議は休会とさせていただきます。
- 8月の常任理事会は休会とさせていただきます。

お知らせ

●図書館友の会

8月の読書会は反戦・反核を歌った
(峠三吉・原民喜・切明千枝子・豊田清史)
の詩・短歌・エッセイを読みます。
日 時 8月26日(火)午後1時30分から
場 所 まほろばセンター市民活動交流拠点
問い合わせ先 浅川 肇 TEL:090-1961-6345
友の会会員以外の参加も歓迎します。



●大飯原発再稼働差し止め裁判勝訴の意義を考える報告会

主催：脱原発桜井の会 協力：うるわしの桜井をつくる会文化部会
7月13日(日)午後2時から、まほろばセンター市民活動交流拠点で、「福井から原発を止める会」事務局長の松田正さんをお招きして、家族で印刷業を営みながら、「人格権は我が国の法制下において最高の価値である」という高い倫理性を持つ判決を勝ち取るまでの活動報告は感動的でした。

当日は、市内外から約50名の参加があり、質疑応答も活発に行われ、「とても良い話を聞いた」「このような機会をもっと増やして欲しい」など多くの感想もいただきました。

尚、参加者の皆さんから徴収いたしました資料代(合計¥7,200)を「福井から原発を止める会」へのカンパとして松田様に預けましたので、ご報告しておきます。皆様、ありがとうございました。



講演される松田氏

後記にかえて ―文化部会より 私の考える市民とは、〈国家と国民〉という捉え方の対象としての〈近代社会と近代市民〉としての〈市民〉を指します。ですから、桜井市における地域住民という狭い概念ではないのです。もちろん、人種・国籍の区別も考えていません。そういう点では7月に「大飯原発再稼働差し止め裁判勝訴の意義を考える報告会」は県内各地からのご参加も多く有意義でした。その後も要望が相次いでいます。今後も企画を考えて参ります。

(あさ)

うるわし通信編集責任者
〒633-0091
桜井市桜井142-5-203
浅川 肇
TEL090-1961-6345